

9/19 朝日

# 日本産水産物輸入67%減 中国禁輸影響長期化も

## 中国禁輸影響長期化も

8月前年比



8月4日、上海市内の水産市場の店内にあった北海道産の冷凍ホタテ。8月下旬に訪れる井上亮撮影

避けられない。

中国の税関総署は18日、日本から輸入した水産物の総額が8月に

1億4902万元（30億2千万円）となり、前年同月から67.6%減ったと発表した。東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出を受け、8月下旬に中国が始めた

日本産水産物の全面禁輸が影響した。日中間で政治的な解決に向かう道筋は描けておらず、影響は長期化する可能性がある。

中国は処理水の放出計画に反発し、7月上旬から日本の水産物に対する放射性物質の検査を厳しくした。日本の水産物の通り物にならない鮮魚を取り扱う間に時間がかかるようになり、鮮度が落ちると中心に輸入が止まつた。

7月に前年同月比28.5%減の1億4902万元（30億2千万円）となり、前年同月から67.6%減ったと発表した。東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出を受け、8月下旬に中国が始めた日本産水産物の全面禁輸が影響した。日中間で政治的な解決に向かう道筋は描けておらず、影響は長期化する可能性がある。

中国は処理水の放出計画に反発し、7月上旬から日本の水産物に対する放射性物質の検査を厳しくした。日本の水産物の通り物にならない鮮魚を取り扱う間に時間がかかるようなり、鮮度が落ちると中心に輸入が止まつた。

7月に前年同月比28.5%減の1億4902万元（30億2千万円）となり、前年同月から67.6%減ったと発表した。東京電力福島第一原発の処理水の海洋放出を受け、8月下旬に中国が始めた日本産水産物の全面禁輸が影響した。日中間で政治的な解決に向かう道筋は描けておらず、影響は長期化する可能性がある。

天津の市場で仕入れる鮮魚が人気だった北京市内の居酒屋も空席が目立つ。中国人店主は「日本産に限らず、海産物全体を避ける空気が強い。ようやくゼロコロナ政策が終わり、これからどういった時に本当にしんどい」と憔悴した様子だ。「（日本の）関係悪化で苦しむのはいつも庶民だ」。処理水問題は冷え込んでいた日中関係をさらに悪化させており、打開の糸口は見つかっていない。9月上旬にはインドネシアで岸田文雄首相が中国の李強首相と立ち話をし、禁輸措置の撤回を申し入れた。ただ、中国側は放出が「民衆の健康に関わる」（李氏）とする立場を譲らず、議論は平行線が続く。（上海＝井上亮、遼陽＝金龍、北京＝袁麗麗）

## 日本料理店に打撃

の輸出先だ。9月以降は中国向けの輸出はほぼゼロになるとみられる。日本水産業界への打撃は

県が対象の聞き取り調査結果によると、北海道や青森など各地で水産物の価格が下落していた。ホタテやナマコなどのほか、九州では養殖のクロマグロやブリが値下がりしたという。

農林水産省によると、去年の中国向けの水産物輸出額は87.1億円。全

%だった減少幅は8月24日から始まった全面禁輸でさらに拡大。冷凍もの輸入まで禁止されたことで、ホタテなどが打撃を受けたとみられる。

中国国内で影響が大きいのが、近年、人気を集め

てきた日本料理店だ。

天津の市場で仕入れる鮮魚が人気だった北京市内の居酒屋も空席が目立つ。中国人店主は「日本産に限らず、海産物全体を避ける空気が強い。ようやくゼロコロナ政策が終わり、これからどういった時に本当にしんどい」と憔悴した様子だ。「（日本の）関係悪化で苦しむのはいつも庶民だ」。処理水問題は冷え込んでいた日中関係をさらに悪化させており、打開の糸口は見つかっていない。9月上旬にはインドネシアで岸田文雄首相が中国の李強首相と立ち話をし、禁輸措置の撤回を申し入れた。ただ、中国側は放出が「民衆の健康に関わる」（李氏）とする立場を譲らず、議論は平行線が続く。（上海＝井上亮、遼陽＝金龍、北京＝袁麗麗）